

第二一回ペン川柳会

令和三年十二月二十日

お題 「群・群れる」

■ 細谷 (損得)
そんとく

群れがイヤ言う奴ばかり徒党組み
馬鹿息子落第点では群を抜き

■ 曾山 (酩帝)
めいてい

腰曲がり杖をついても群れたがり
老いてなお群雄割拠の夢捨てぬ

■ 山縣 (安兵衛)
やすべえ

温泉でばかりゆったり猿の群れ
群れないぞなんて人ほど流される

■ 松谷 (零門)
れいもん

イケメンに群れる熟女の意気高し
甘い汁鵜の目鷹の目欲の群れ

■ 西川 (酔雅)
すいが

群れるのを避けて出世の道外れ
群れながら探ったあたり今昔

■ 三春 (火酒)
ウオツカ

眉ひそめ指折る苦吟症候群
そりやないぜ魚群探知機擬似のエサ

■ 浜田 (我々好)
ウイスキー

一人ポチ怖くて群れるLINE友
人気店コロナ間隔空けた群れ

■ 安藤 (晃二) てるつぐ

鶏群の処分の悩みクリスマス
群れ頼り兜深か深かボイコット

■ 稲宮 (井波) いなみ

オンライン温もり持って群がれず
超されそう群れて突き上げ賃上げだ

■ 塚田 (拿々) だだ

民主主義群れて騒げど波立たず
知事怒る人気度競う群馬県

世話人 塚田 實 (拿々) だだ